

## Automotive SPICE 3.1 実践ガイドブック [入門編]

### ～システムエンジニアリング～の正誤表

2021/5/21

この度は、Automotive SPICE 3.1 実践ガイドブック [入門編]～システムエンジニアリング～をご購入いただきましてありがとうございました。下のとおり一部記載内容に誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。ご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。

#### 訂正箇所：P42 表6－2－2

訂正内容：以下の基本プラクティスおよび作業成果物に対する活動との対応関係を修正した。

- ・ 基本プラクティス：検証基準の作成、双方向トレーサビリティの確立、一貫性の確保
- ・ 作業成果物：トレーサビリティ記録、インタフェース要件仕様書、システム要件仕様書

表6－2－2 「システム要件分析」において能力レベル1を達成するための活動

		活動		
		システム要件の仕様化	システム要件の分析	システム要件書の評価と合意
基本プラクティス	BP1 システム要件の仕様化	●		●
	BP2 システム要件の構造化	●		
	BP3 システム要件の分析		●	●
	BP4 運用環境における影響の分析		●	●
	BP5 検証基準の作成	●		
	BP6 双方向トレーサビリティの確立	●		
	BP7 一貫性の確保	●		
	BP8 合意したシステム要件の伝達			●
作業成果物	13-04 情報伝達記録			●
	13-19 レビュー記録			●
	13-21 変更制御記録	●	●	●
	13-22 トレーサビリティ記録	●		
	15-01 分析報告書		●	
	17-08 インタフェース要件仕様書	●		
	17-12 システム要件仕様書	●		
	17-50 検証基準	●		

## 訂正箇所：P60 表6－3－2

訂正内容：以下の基本プラクティスおよび作業成果物に対する活動との対応関係を修正した。

- 基本プラクティス：双方向トレーサビリティの確立、一貫性の確保、合意したシステムアーキテクチャ設計の伝達
- 作業成果物：トレーサビリティ記録、インタフェース要件仕様書

表6－3－2 「システムアーキテクチャ設計」において能力レベル1を達成するための活動

		活動		
		プラットフォーム設計	エレメント設計	システムアーキテクチャ設計書の評価と合意
基本プラクティス	BP1 システムアーキテクチャ設計書の作成	●	●	
	BP2 システム要件の割り当て	●	●	
	BP3 システムエレメントのインタフェースの定義	●	●	
	BP4 動的な振る舞いの記述		●	
	BP5 システムアーキテクチャの選択肢の評価	●	●	
	BP6 双方向トレーサビリティの確立		●	
	BP7 一貫性の確保		●	
	BP8 合意したシステムアーキテクチャ設計の伝達			●
作業成果物	04-06 システムアーキテクチャ設計書	●	●	
	13-04 情報伝達記録			●
	13-19 レビュー記録			●
	13-22 トレーサビリティ記録		●	
	17-08 インタフェース要件仕様書		●	

本ガイドブックに関して、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社

〒150-0012

東京都渋谷区広尾 1-13-1 フジカイト広尾ビル 5F

TEL: 03-5791-2121（代表） FAX：03-5791-2122

E-MAIL: marketing@biz3.co.jp

\*\*\*\*\*